

# ガムシ

*Hydrophilus acuminatus* Motschulsky

## コウチュウ目ガムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

### 選定理由

かつては普通種であったが、全国的に減少傾向にある。県内でも、1990年代までは丘陵部では珍しくなく、能登では局所的に多くの個体が見られたが、2000年以降の減少傾向が著しい。

### 形態

体長33~40mmで日本最大のガムシ類。体型は紡錘形で、体は黒色、背面は膨隆し、やや銅色の光沢を帯びる。触角や髭は黄褐色。腹面はやや赤みを帯び、毛がない。脚は細く、中・後脚は各跗節の内側に黄褐色の長毛が密生する遊泳脚である。幼虫はいも虫状で約70mm。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、南西諸島。

### 県内分布

加賀市、小松市、能美市、金沢市、津幡町、かほく市、志賀町、中能登町、七尾市、輪島市、穴水町、能登町、珠洲市。

### 生態

6月頃に卵嚢を水草に付着させる。幼虫はモノアラガイなどを捕食し、老熟すると岸辺に上陸し土中で蛹化する。成虫は藻や水草、植物質の腐植物などを摂食する。成虫は飛翔し、繁殖期にはため池から水田や水路へ移動し、灯火にも飛来する。3~11月まで確認され、水中で越冬する。

### 生息地の条件

平野部から丘陵部の水生植物の豊富な池沼、水田、放棄水田、水田脇の水たまり、掘り上げなどに生息する。

### 生存の危機

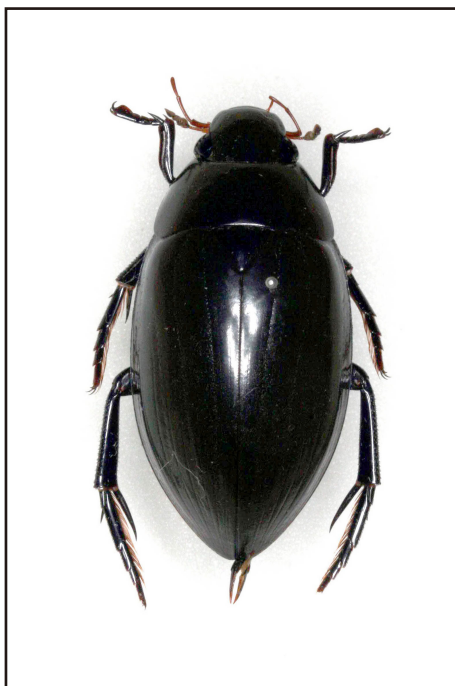
池沼の開発による消失、ため池の管理放棄、各種排水や農業による水質汚染、圃場整備による乾田化、外来種の侵入、街灯の増加などが脅威となっている。ため池の維持管理の継続、放棄水田の湛水化、外来種の侵入防止と早期の駆除が保全上重要である。(A, B, C)

### 参考文献

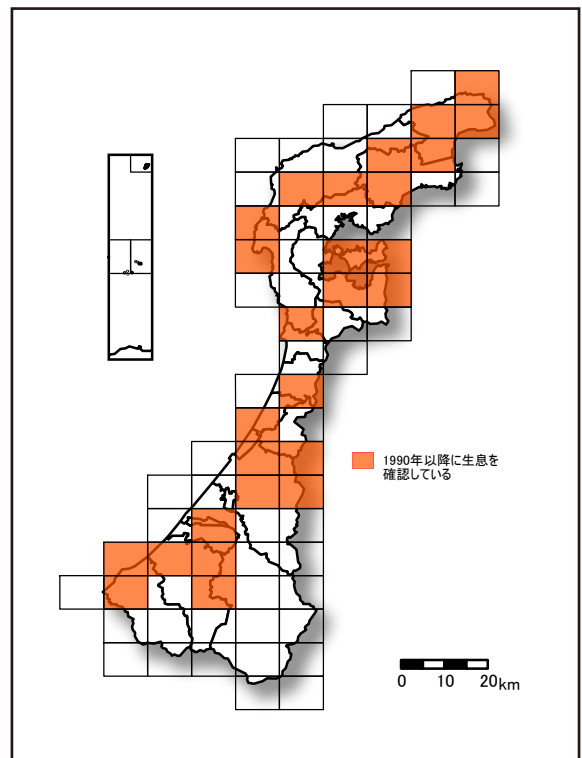
細井 操 1939. ガムシの幼虫及び蛹に就て. 昆虫界, (67) : 509-513.

細井 操 1947. ガムシ *Hydrophilus acuminatus* Motschulsky の生活史. 植物及動物, 7 (11) : 43-50.

西城 洋 2001. 島根県の水田と溜め池における水生昆虫の季節的消長と移動. 日本生態学会誌, 51 (1) : 1-11.



標本提供者: 富沢章



県内の分布